

# 黒岩探訪

たんぼう

15

KUROIWA  
くろいわ

## 盛んだった黒岩村の養蚕業

学校では、四年生が総合的な学習の時間で養蚕体験に取り組み、先日約三百個の繭を出荷しました。今回四年生は、半分ほど家に持ち帰って飼育し、まぶしも手作りしました。今後、座繰り体験等をしていく予定です。



【写真 4年生が養蚕体験で飼育した蚕とその繭】

一学期四年生が絹文化継承プロジェクトに参加している時「黒岩探訪7」で三階建て養蚕農家の北村家を掲載しました。その後、四年生の養蚕指導をしていたいた別保にお住まいの松本様に、明治末期に黒岩村の養蚕が盛んだったことを示す資料を紹介してもらいました。その著書名は『大日本蚕業家名鑑』（大正2年12月刊行・扶桑社）です。この本には、養蚕・製糸に関わるいろいろな記録が載っています。その中で、町村ごとに大規模な養蚕農家一覧のページがあります。当時の黒岩村（明治22年の町村合併により範囲は、旧上黒岩村・下黒岩村・黒川村・別保村）には下表の21軒が載っています。カッコ内は数字は収繭量の石（この数を表しています。松本様の説明では、繭の一石は十貫目で37.5kg、十石は百貫目で375kgということです。黒岩探訪7で紹介させていただいた大養蚕農家の北村家は、田中の北村吉五郎氏宅にあたるそうので収繭量は八石です。明治末期には同等からそれ以上の養蚕農家がたくさんあったことがわかります。読んでいただいた皆様のなかにはご存じの方があるでしょうか？

先日、富岡市が製作した映画「紅の襷」を観てきましたが、明治時代からの盛んな製糸業は、地元農家の

養蚕に支えられていたことを実感させられます。

なお、地区名はこの本には載っていませんが、昭和一桁生まれの黒川地区の月田様、吉田様にご示唆いただきました。（黒岩小学校卒業生です。）

|           |            |
|-----------|------------|
| 上黒川       | 高橋房吉（10）   |
| 吉岡治平（10）  | 吉岡金平（6）    |
| 吉岡才治（8）   | 佐藤礒吉（10）   |
| 吉田要藏（10）  | 松本美之吉（10）  |
| 清水伊三郎（12） | 勅使河原龜吉（12） |
| 本多馬吉（6）   | 吉田唯吉（10）   |
| 新井己吉（8）   | 佐藤民次郎（10）  |
| 黒澤與三郎（8）  | 小坂橋與惣次（6）  |
| 野口仙次郎（10） | 治田鍋十郎（8）   |
| 齋藤善太郎（10） | 北村龜藏（12）   |
| 北村吉五郎（8）  | 瀧上仲藏（8）    |
| 清水理三郎（別保） |            |

### 【明治時代末期の黒岩村の大養蚕農家（敬称略）】

地区名に間違いがあればお知らせください。